

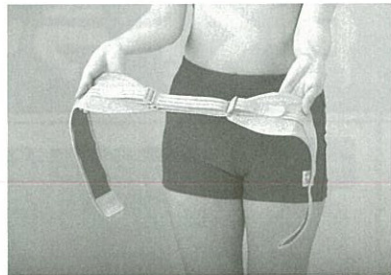
ダイヤ工業 静音面ファスナーをクラレ子会社と開発

医療用品メーカーのダイヤ工業(株) (岡山市南区古新田1125、松尾正男社長、資本金1000万円)は、クラレファスニング(株) (大阪市)と共同で、開閉時の音を抑えた面ファスナーを開発した。同ファスナーを採用した骨盤ベルトを、9月に発売するなど新商品に導入していく。

面ファスナーは、かぎ状の突起物が付いた面と輪状の繊維でできた面を引っかけて結合する仕組みで、取り外し時に繊維が大きく振動し音を

出していた。共同開発の面ファスナーは、突起物がまっすぐで一定方向に傾いており、傾きに沿ってずらすことで振動を抑え開閉できるようにした。縁にはT字型の突起物を並べ外れにくくした。ダイヤ工業では、感覚的な音量は半分以下という。特許出願中。

骨盤ベルトは、骨盤のゆがみ矯正などで使用されるもの。9月25日に発売した新商品「ニュートラルビューーティーバンドアロー」では、静音



静音タイプの骨盤ベルト

性の向上に加え女性の骨盤の形に合わせ弓なりのデザインを採用しフィットしやすくした。価格は1万円(税別)。既存商品に比べ30%増の年間販売目標(5万本)に設定した。